

取者厚見部以軍市奉... 大工職増田... 月七...

一 月廿三日... 大工職増田... 月七... 御奉行...

御奉行... 御奉行... 御奉行... 御奉行...

一 御奉行... 御奉行... 御奉行... 御奉行...

御奉行... 御奉行... 御奉行... 御奉行...

御奉行... 御奉行... 御奉行... 御奉行...

御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行
御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行
御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行	御奉行

一 明治三十丁酉年三月六日午後五時半頃入奥轉毛道
入二七軒町貳百七拾三番戸古田次郎家賃八拾錢又办
小同居爲入御座軒へ廻り捨

一 齊木棟權貳拾錢

一 吉田謙登五錢

一 押頼彦次郎拾錢

一 岩塚鴻之輔拾錢

一 岩塚鈴太郎拾錢

一 小島常右工門貳拾錢

一 岸氏五郎拾錢

一同和六月三日同席官員十七名ト宮部作次郎方へ香質
返シ二大饅頭志重高國持参入

一同和七月二日智香院慰問十九日二日付高國初希泰

請少枚季和尚留守夫レヲ平島村へ行キ岩塚鴻之輔同

鈴太郎杉原菊右工門名位市左工門五藤傳左工門岸氏五

郎小島常右工門同賢次郎方へ定年病氣ニ付爲名代トシ

于廻山村一同へハ氏五郎方ノ様ニ置信

一 明治卅丁酉年三月廿三日附ヲ以テ分家並ニ送將願
文申越入吟明續次郎未下書差藏入在ニ

分家額

岐阜縣稻島郡上羽栗村大字平島

番外土族坪内定年

男 繁次郎

冬三年寅月廿生

妻 得

明治四年月廿生

長女 政

明治四年月廿生

明治三年月廿生

長男 定規

明治廿八年月廿生

計四人

石私守録次郎儀今般家事ノ都合ニ依

リ滋加貝賺犬上郡久徳村大字久徳第七十六

番屋敷へ分家爲致度候間御許容被下度

別紙片藉寫付添へ此段奉願候

右片主坪内定年印

分家主坪内録次郎印

住所披露

同 何某 印

同

岐阜縣稻島郡長何某殿

右江別ヨリ奉止処当地ニ於テ是是野中彼場ノ藉掛リ相

勤候時島碑石同人ノ梅江相談致シ候者左ノ文高

分家送將願

岐阜縣稻島郡上羽栗村大字平島

番外土族坪内定年

男 録次郎

冬三年寅月廿生

妻 得

明治四年月廿生

長女 政

明治廿六年寅月廿生

長男 定規

明治三年五月至
右私身錄次郎妻子携帶滋賀縣
犬上郡久徳村大字久徳第七十六
番屋敷分家致候間送籍相成度
此段及御届儀也
明治三年七月二十四日
坪内定年 印

羽島郡上羽栗村事致取捨田和藏殿

一 聊七月下旬野中村戸長役場ヨリ江列多賀役場へ眼合
之如先方ヨリ申越スニハ幾日ニシテハ相成候日限中
殿ノ様ニ申来ル由然ニ處テ漆園風ニテ戸長送届書ニテ
取計ニ候故願書ニ無之故シテ下リ不申ニ付今般ハ先
日錄次郎ヨリ江列郡長へ入下書爲殿又ニ就キ石三幅心
少々板屋致シ笠松村役場ニテ岐阜縣羽島郡長本澤忠雄
殿宛ニテ聊七月九日差出ス左ニ

分家願

岐阜縣羽島郡上羽栗村大字平島
番外士族 坪内定年 弟

錄次郎

明治三年八月五日
第壹子 錄次郎 弟

明治三年八月五日
第貳子 政 弟

明治三年八月五日
第參子 定規 弟

右之者今般家事都合ニ依リ滋賀縣犬上郡
久徳村大字久徳第七十六番屋敷分家致
候候間御之許被成下度別紙ノ籍寫相添ヘ親
族連署ヲ以テ此段奉願候也
明治三年八月五日
右

右之本紙 岐阜縣羽島郡長本澤忠雄殿
印ハ江列ヨリ白紙ニ印計リ附ヒ十三枚未ル紙ハ明治七年
頃ニ右竹次郎當国笠松村郡役所へ差出シ置申候本紙差出ス左
ノ如ク留置候
一 明治三十丁南年聊八月廿二日午前一時 朝廷西宮ヨリ
東京へ還奉候人皆以テ上ノ邊事務並出シ不刊
一 明治卅一戊戌年聊三月朔日定奉於岐阜縣廳ニ御奉書御
受取申候

明治三年八月五日
坪内定年 印
岐阜市今般川重禮 印
岐阜市三井町 定 印
岐阜市三井町 重禮 印
岐阜市三井町 重禮 印
岐阜市三井町 重禮 印

右之本紙 岐阜縣羽島郡長本澤忠雄殿
印ハ江列ヨリ白紙ニ印計リ附ヒ十三枚未ル紙ハ明治七年
頃ニ右竹次郎當国笠松村郡役所へ差出シ置申候本紙差出ス左
ノ如ク留置候
一 明治三十丁南年聊八月廿二日午前一時 朝廷西宮ヨリ
東京へ還奉候人皆以テ上ノ邊事務並出シ不刊
一 明治卅一戊戌年聊三月朔日定奉於岐阜縣廳ニ御奉書御
受取申候

一 点、在十貳字ハ高國憲ニテ入
置点無キ字極薄紫色ニテ摺込テ
本紙白洋紙立燭六寸ハ五層也横
燭壹尺壹寸六分五厘也六層折也
一 書筒袋ニ入二重袋上紙白燭下
紙薄紫色立燭七寸三分極燭
寸八分也

一 点、在十貳字ハ高國憲ニテ入
置点無キ字極薄紫色ニテ摺込テ
本紙白洋紙立燭六寸ハ五層也横
燭壹尺壹寸六分五厘也六層折也
一 書筒袋ニ入二重袋上紙白燭下
紙薄紫色立燭七寸三分極燭
寸八分也

一 明治卅一戊戌年三月十一日 出頭之表於縣廳

高津雄次殿ヨリ御書付御渡シ

一 西洋紙極厚紙白色大能シ

一 御教五七ノ桐漉込

一 四ノ折

一 立軸奇五分也

一 横書尺〇貳分五厘也

一 御無印

明治三十五年書

給月俵拾壹圓

爲坪内定年



岐阜縣

一 明治卅一戊戌年三月十一日 出頭之表於縣廳

高津雄次殿ヨリ御書付御渡シ

西洋紙極厚紙白色大能シ

御教五七ノ桐漉込

四ノ折

立軸奇五分也

横書尺〇貳分五厘也

御無印

明治三十五年書

一 明治卅一戊戌年三月十一日 出頭之表於縣廳

高津雄次殿ヨリ御書付御渡シ

西洋紙極厚紙白色大能シ

御教五七ノ桐漉込

四ノ折

立軸奇五分也

横書尺〇貳分五厘也

御無印

明治三十五年書

太子西京ヨリ御着途中送之車其外醫員衆御迎ニ出ル

岐阜市西別院ニ入御今岐阜皇朝卅日午前九時御發

一 明治卅一戊戌年三月十一日 朝廷海軍ニテ午前

九時世分岐阜縣養護園停車場ニ御着是分間御停止ニ而

世志分ニ御祭壺撰列大坂一行車右同所ニ於テ

御上覽、赴垣内定年ハ不出聖々日婚十三日還幸御通行

不出一

一 明治卅一戊戌年三月十一日 朝廷海軍ニテ午前

九時世分岐阜縣養護園停車場ニ御着是分間御停止ニ而

世志分ニ御祭壺撰列大坂一行車右同所ニ於テ

御上覽、赴垣内定年ハ不出聖々日婚十三日還幸御通行

不出一

一 明治卅一戊戌年三月十一日 朝廷海軍ニテ午前

九時世分岐阜縣養護園停車場ニ御着是分間御停止ニ而

一 明治卅一戊戌年三月十一日 朝廷海軍ニテ午前

九時世分岐阜縣養護園停車場ニ御着是分間御停止ニ而

世志分ニ御祭壺撰列大坂一行車右同所ニ於テ

御上覽、赴垣内定年ハ不出聖々日婚十三日還幸御通行

不出一

一 河津村中寺
一 河津村中寺

一 安政己未年二月十日辰、上刺流産七ヶ月也、母者繁

高麗云
女子

女園院殿也、法名幻空、敬女

濃州河泉野村字赤池坪内、天代々持墓所、三同十一日
二葬出、檀役六、半時頃、空闕二、吊少林寺ヨリ、納所、愚定
奉止石牌北、如少之西、月、三南向、三立、又元辛酉年
夏月、日石牌文字、下書者、當國屋見郡上加納村、禪
宗臨濟派、京都妙心寺徒、泉瑞龍寺境内、瑞朝、大善知識、薩
門大和尚御筆

高麗云
男子

如名繁次郎、本國濃州河泉郡平嶋村、本姓西嶋
又久三、癸亥年五月四日、晴祀、日本中、御満十壹、子月二子
誕生、母者本妻十勢女、此、北、上、樓、下、江、腕、子、出、生、

元治元甲子年二月十六日、種痘坪内、氏屋、二、於、西、尾、別、禁
梁郡北方村、藥方、醫師、餘、野、屋、小、澤、長、次、郎
明治九丙子年、卯、此、月、廿、三、日、再、度、種、痘、羽、栗、郡、米、野、村、福、藏
寺、二、子、殿、齋、願、方、見、郡、岐、阜、大、工、町、居、住、青、木、雄、哉、

同十一、戌寅年、卯、三、月、十、七、日、三、度、種、痘、羽、栗、郡、無、動、寺、村、光
寶壽寺、二、於、南、關、方、醫、師、屋、見、郡、史、阜、大、工、町、居、住、青、木、雄、哉、

同十一、戌寅年、卯、此、月、廿、七、日、當、國、屋、見、郡、加、納、町、藏、子、目、武
番地、住、居、坊、號、加、納、三、五、萬、三、江、大、江、船、三、江、船、三、江、船、三、江、船、

門、勝、成、未、女、五、鎌、女、江、舞、養、子、控、當、富、年、十、九、歲、江、相、談、整、了
今日、結、納、先、方、ヨリ、奉、止、仲、人、屋、見、郡、下、川、手、村、后、白、勇、右、衛、

門、同、年、細、此、月、廿、五、日、等、危、大、區、六、小、區、學、見、郡、加、納、町、二、番、地
柴田家、江、引、移、此、同、年、卯、十、月、廿、四、日、送、精、進、同、日、戶、長
送、明、啓、ヨリ、受、取、書、到、來、翌、年、十二、己、卯、年、卯、二、月、廿、八、日、離
縁、二、付、送、精、進、先、方、ヨリ、差、展、入、上、二、冊、甚、六、器、三、女、年、七、歲、三、女、年、九、歲、入、以、不、離

檢査日 一 明治廿一年八月三日 羽栗郡代屋村戸長
 次郎痛氣二付羽栗郡下屋村西洋醫師小島一學二
 高國進具改肺二毒病二付羽栗郡下屋村西洋醫師小島一學二
 明治十一年八月三日 羽栗郡代屋村戸長

一 明治十八年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 町江出領合放組無郡付九月廿七日該組二項出之試驗
 五臺於二部收商沙二物書時出無八可參言制五ノ前
 時項出宅紳書付御渡之書書五臺早縣平民木村鏡次
 郎岐阜縣羽栗郡役町部内小學校之種補助員辨認候春明

治十八年十月三日 岐阜縣羽栗郡役所 第六拾號
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 十六日木村巡廻二于時已上刺館名付命岐阜縣巡

查木村鏡次即岐阜縣署詰命入明治廿一年四月十日
 岐阜縣警察本署醫員 朝七日莊川村卷足 朝八日高山
 江香翌日 朝九日 藤引高山出立 朝十日 巴上對見

一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役

一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役

明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役

一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡代屋村戸長
 ヨリ相違又左之通り本年撤兵檢査之義者本月十日前
 第五時三十分ヨリ羽栗郡笠松村東本願寺別院ニ於テ執
 行可有之ニ付而者管内檢査集合セテ戸長自引速檢査場ニ

徑足可致苦ニ付同日午前第四時揃ニ當役場ニ無遅刻必
 入出頭可有之此致達候事明治廿一年八月一日羽栗郡役
 四ヶ村戸長役場 破平島村坪内鏡次郎 為 朝八月十日 昼

前二相濟不 含格 知レ入り大塚大洪水橋上漢川大
 江江之 此頃出候ニヨリ 至テ三度入水橋上漢川大
 江江之 此頃出候ニヨリ 至テ三度入水橋上漢川大

ヨリ觸書ノ違書ニ 四ヶ追テ違書交取之証トシテ別冊進
 名ハ 森印アリタシ但親族ニ於テ受取タル時ハ受取人
 代印ノ旨記載シ調印スベシ 訪 國代印ハ 〇 藤田治平方ニ

一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役

署長 敬ヨリ結啓候 仰付庚御書付御渡シ
 在 通り岐阜縣巡查坪内鏡次郎八幡警察署詰ヲ命大明
 治廿一年十二月廿一日 岐阜縣警察本郡 同月廿二日 廿三日

日 破 仰付午後七時 夜六時 中利 遊長ヨリ夜使松
 三 乘リ午前一時 地分 稔ノ中 料頂上有知村江着松同所
 一 明治廿一年八月三日 日 漢列羽栗郡笠松村郡役

類差出不同日入籍

一同年十一月 昭 近江國犬上郡彦根町警察署被

仰付候

一同年十一月 昭 近江國犬上郡彦根町警察署被

右二付同年同月 昭 日監警縣江州法買郡天津町大字

敬習寺之出立同國法買郡近江國犬上郡彦根町

寄其後彦根町大字西榮町小田新方

寓居又後彦根町大字彦根町福田歧木部方寓居

一明治廿五年辰年 昭 月 給八回、被仰付候

一同年 昭 月 犬上郡東中良村字金屋巡査駐在所

江信答被 仰付候、付同月 昭 日 立江島身被仰付候

一同年 昭 月 甲午年 昭 十一月 日 語答被 仰付候、通

右二付 昭 十一月 昭 日 犬上郡久徳村大字久徳巡査駐在所

江列着参被 昭 十一月 昭 日 村 每日 廻村 巡査

一明治廿八年 昭 十一月 昭 日 時 查被、中 昭 日 江

列犬上郡彦根町津東渡列安八郡大垣町大字清水町

藤玉衛方へ嫁致女ヲ連て出立午後一時頃着置被時

後 昭 日 發次郎出立被、昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

對ノ字伊吹町千貳百三十四番戸大工職増田新太郎

方へ看留守ニ付荷物々置 二 昭 日 昭 日

大字小鉢町九百八番、十一月廿上支遣借家住

實父高國方へ來り又夕刻落合兄定年方へ定國、同 昭 日

を行キ一泊翌日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

前項三列豊橋三郎有時彦後世分、津東ニ定國彦根

藩送送忘し物在り定國取リ、昭 日 昭 日 昭 日

一同年十一月 昭 日 柳届以早縣對票郡平

島村士族坪内定年、計球内録沈郎久三、支年五月四日生

右香本月二日、岐阜市令泉上付町眞銅傳藏扣糸四百六十

一番戸坪内定年方江寄留任候此取及御届候也明治廿四

年九月二日右借主坪内録沈郎、味古家主眞銅傳藏〇曜

岐阜市長態各孫六郎殿入同日平島村戸長〇科泉郡野中

村々々村組合村助被字氏五郎、宛ニ于出貫、大徳表基

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

一二年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

所巡査志願書差出入、昭 日 昭 日 昭 日

一同年 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日 昭 日

閑、休暇也同廿三日春插四時分選舞三節午前十一時十分三列出立午後一時下選舞最阜小林町父高國寺江乘リ廿五日時邊頂岫草市併吹町元定年方一行キ一泊後入高國寺行選舞三節ヨリクニ知リ路大箱ニ入能唐密栴鉢鉢好網袋ニ入線次郎へ談ニ持泰和氣精妙定洋遣ニ且赤令度鏡次郎ヨリ土産大短吉物大煎餅存解本禮等ニ差渡し凡手五寸許小度防四寸程袋ニ入ルル大短得女里ヨリ饅頭一箱箱計十時鐘次郎ヨリ之年一饅頭大饅頭ト五今午目ニ于面會翌廿五日辰下町併吹町ヨリ來リ一割示箱計奈内毛餅餅併吹町ヨリ來リ暫シテ毛列古屋字大池方へ行ク網人此邊ニ急行無慮懸列山由へ遊六節ニ同日午後五時半併吹町へ赤リ夜六節六時顯小林町へ來食事シテ車ニ豫車ニ面大短へ歸ル同地西四夜リ持高船差起リ同廿八日晝後一時邊江列天上縣又德村駐在所へ歸定短列ニ後從者輪轉ニ可致心組合一同年郡九月廿七日夜ヨリ大短ニ于病氣ニ于翌十日四時夜八時過江列天上郡又德村大字久德駐在所へ飯宅ニ于邊邊種名高濱寺小堂孝藏云江察親候処内懸ニ而古ノ體操ニ于甚痛ニ候由七日程經テララ毛湯少ク用其二見鷄卵三ツ五ツ牛乳香合白ブドウ酒又ハ梨蜜相討リ相用破氣ハハ腫レ聖候同廿二日ヨリ西洋流医師村杉本ト云フ醫師ニ替候同見立モテテ要方之シト申病名ノ由大體國ハ不傳リ燈明也

一併三部新六期廿八日清國ヨリ歸後廿八初テ濃列岐阜へ來ル時土産物浴衣唐綿編年及報子供入子供下駱毛足三國ノ時ノ高振揚才彩色也

四枚續内志松新三部奉故御書紙半切ツ之尺三尺五分大久保基志故定年志松續次御書紙奉切ツ之尺三尺五分申遺大左邊賢縣天上郎彦根町字油屋町真下七兵衛方并内トシテ石申越スニ付差出入選舞場

一明治廿九年申年正月十四日
 於产彼 御渡候御書付左之通り 署二

古ニ絶方同月朔十五日大上郡多買村大字多買村中多買入德打方六丁在リ諸駐在所ノ總長ノ位置ノ由轉宅入一明治三十丁酉年正月十六日午後一時頂母午親粉兒ノ電信邊御用ニ歸岫其日ニ妻得子供定規ト政女共出立之所豫車邊ニ江列彦根ニ一泊翌廿六日大短へ廻リ復政太リ連シ午後、四時頂到着妻ト之規先キ而泰ルル如クニ跡手リ來ル菓子金半糖餅大箱有香菓金壹圓也翌十八日出棺午後二時五十分余頃分新舊二人ノ子供下送ハカ車濃列翁業郡各等郡郡加打元胡村大字新加納禪宗少林寺送ト子與晚合前六時頃引取ル車ト引取ハ步行ニテ夜ニ入十時頃引取ル翌十九日四十九日ノ法事引上テ少林寺ニテ修行午後一時温蒸詣妻ハ不快ニ故定規一人同道人刀車ニテ前大發願六堂入夜九時頃假心翌十九日午前十一時頃妻得女政女大短へ演車ニテ假心午後三時半頃發次郎之規大短へ行ク同廿一日午後四

時江列大上郡多賀村大字多賀駐在所(歸止
 一明治世丁酉年癸卯七月廿一日江列多賀村大字多賀三秋
 了續願差出久又今日由京へ鶴買へ出籠入解八月初六日
 錄職願御開濟同日飯乞鶴貳百羽買來此定ニモ貳拾羽
 程居心代金 同又鶴部屋長九間申貳間檢管田余
 入費 一明治三十丁酉年癸卯八月八日出狀江列大上郡多賀村大
 字本寄へ轉住、急病响九日到着
 一明治世丁酉年癸卯七月廿三日附ニテ封書來ル今般坪内
 錄次御儀合來並ニ送籍ノ儀至急ニ願ヒ吳候様申越入狀
 歸心御儀之住所、江列大上郡久徳村大字久徳等七十六
 番屋敷也、送日歸職願心組也勿論身侘弱多故之外ニ高
 野致入申ニ舟ニ申ニ同杜六日足定年ヨリ右御届書下致
 一差出入 羽島郡上羽栗村事發取扱岩田初藏殿へ平島ノ人ヲ頼

分家送籍也
 岐阜縣羽島郡上羽栗村大字平島
 島外士族 并内定年

錄次郎 貞治元年十月廿日生
 得治元年十月廿日生
 秋明治元年十月廿日生
 受領治元年十月廿日生
 右私穿錄次郎妻子携帶滋賀縣
 大上郡久徳村大字久徳等七十六
 番屋敷分家致候間送籍相成度
 此段及御届候也

(朱書) (朱書) (朱書)

(朱書)

右
 明治五年七月十四日
 坪内定年(印)朱印

右藍色半紙景城十貳行右美濃風ノ取扱指四解五元
 一明治世丁酉年癸卯六月下旬野中村戸長役場ヨリ江列大
 上郡多賀村役場江照會、町先方ヨリ申越スニハ、幾日ニ
 七レイニ相成候日限申越ス様ニ申來ル由然ル如美濃風
 二而戸長送届書ニテ取計ニ候如願書ニ無之而ハレシ
 下リ不申由ニ付今般八先日錄次郎ヨリ江列役場ノ下
 書差越入ニ付キ右下書大伴藤竹次郎拜島村人字録中
 身難申遣シカ、七條組ニ三字校差ノ報差江下書見當
 笠松村ニ于岐阜縣羽島郡長全澤忠雄殿宛ニテ新八月廿七
 日差出入所藤竹次郎ノ權ニ、申レテ候、大坂津石城書、十行景
 分家願 岐阜縣羽島郡上羽栗村大字平島

計四
 右私穿錄次郎儀全般景事ノ都合ニ依
 一滋賀縣大郡久徳村大字久徳等七十六
 番屋敷分家寫出添(近景奉願候
 別紙戸籍寫出添(近景奉願候
 右主坪内定年(印)朱印

明治五年八月七日皇幸坪内鑛次部

鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

石州鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

屋町上岸邊 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

五十九分 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

一明治世一戊戌年 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部
鑛次部 鑛次部 鑛次部

御書付

三月御渡

一明治廿三庚寅年五月廿四日○蓋前四ツ全一昨午部十一時ハハ中刻
 過三河國渰美郡豊橋町字 鎮臺十八聯隊第八中隊
 中ノ茲濱車ニ而當暗ハノ半時時之申刻過森列學見郡
 岐阜今泉村字上竹町元新橋町真鑄傳藏傳家四百八十壹
 番戸坪内之年寓居江到善戸二居止表八定年同居實父
 高國大病ニ依テ醫師診斷書三戸長印ニテ舍冠坪内定年
 書狀添差出入船五月十二日 後也翌三日 書狀着ニ付致
 刺鎗ニ被射ニ致シ其後ハ大言無ク只見辭ニ
 表毛同様由望地日出立也街裏見舞見鏡頭十ヲト金
 壹圓也定年江蘇景下壹箱也治治証書轉泰成阜長富治
 ヲ記載し謂即入船六月廿七日夜十時中刻過學見
 郡上加納村字 茲濱車又治三ツリ三列豊橋ノ歸ル
 一明治廿四 申年九月廿六日申午前六時四十分頃大
 ニ震動當日演習之爲メ午前六時出茶牛川村ニテ二里程
 ノリ震動十七皆之驚愕致道方ノ松亦竹殺入ノ走り寄り
 此大地震ニテ昔世思ハ如何ナルト皆々生キタル地
 ナク顔面ハ殆ト死者之如シ五分時程震動サレ其レヨリ
 演習終リ午後三時頃飯塚右三列豊橋ヨリ申入ノ町
 等三戸死傷者少ク船ノ傷者○小生方被大久保基方
 一明治廿三庚寅年九月廿三日 府ニテ三列豊橋坪内斜
 三柳ヨリ出杖聖世一昨着狀瑞書ニテ之稱入用ニ付父母
 祖父母兄弟ノ誕生日及ニ本年十月ニテ旧年何十何才何
 ケ月ト返信用編書ニ雖雖二枚ノ瑞書來ニ送書差出入三
 列豊橋ニテ 江差出入

祖父 爲列藩中樞井後右衛門時憲三男尊養子

坪内佐左衛門定通寛政五癸丑年五月二日辰ノ刻

出生文政十一丁亥年七月廿五日病死三十五歳

祖母 ノウ坪内佐左衛門定興端六養子定通室

享和元年酉年十一月十九日夜子ノ刻出生文政八

乙酉年三月廿一日晩寅ノ下刻病死十五歳

父 高國 文政七甲申年正月廿二日明々旦ノ上刻出

生本年明治廿三年十月十六日六歳十ヶ月

母 千勢天保十一庚子年九月廿五日出生尾羽名古屋

尾列藩宮家着兵衛忠純死五女本年明治廿三年十

月五十歳二ヶ月

名入死嘉永四年亥年九月十七日夜亥ノ上刻出生

明治元辰年十二月尾列藩稻葉右膳正立江嫁入

後隨轉明治十六年三列幡豆郡高橋三村平民林文

平ノ嫁入明治十七年十一月十八日病死三十三歳

二ヶ月

之年安政二乙卯年七月六日夜亥ノ下刻出生本年

當明治廿三年十月三十五歳四ヶ月

兄 次郎 文久三癸亥年五月四日未ノ中刻出生本年

明治廿三年十月二拾七歳六ヶ月

兄 年妻 公之魯應三丁卯年六月十七日出生當明治廿

三年十月二十三歳五ヶ月尾列名古屋元尾列藩内

藤入兵衛昌文二女

同年新八月 日
殿三リ、御書付御渡し

同年新八月十六日ヨリ平安道
同年新九月十六日ヨリ平安道
同日於平安道發遣ニ普長ニ被仰付候
殿ヨリ御書付御渡し、第八聯隊第九中隊ノ相違

陸軍歩兵一等重曹坪内鉾三部

任陸軍歩兵曹長

明治廿七年九月二日

右八坪内鉾三部以東、下書記ノ世間ニ便只支面才記スル

而乙

同年新八月二十三日平塚府ヨリ出狀坪内定年方ノ部

九月五日午後四時、時過着、大高園方江

同日新九月九日午前六時頃、坪内鉾三部ノ部

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同日新九月九日午後一時半頃、江

同年新十一月三十日清國盛京省大孤山坪内鉾三部ヨ

リ父高園方江出狀、新廿二年十一月十五日午後五時過入邊

有狀金貳圓封入、大東鐵工銀行機

一明治廿八年正月三日、清國都城出狀父高園

方、寒氣強、新三月五日、清國都城出狀父高園

一同年新三月五日、清國ヨリ出狀父高園方、新三月

六日午後六時、平明、厚見郡上加納村字北極森着

一同年新三月五日、清國ヨリ出狀父高園方、新三月

八日午後二時、時、厚見郡上加納村字北極森着

一月八日午後二時、厚見郡上加納村字北極森着

一同年新四月八日、清國坪内鉾三部ヨリ父高園方、出

狀、新五月四日、午後五時、頃着

一同年新五月四日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一五月七日、清國盛京省平坪内鉾三部ヨリ出狀

一同年 新田五月三日 日本藝列 郡字品港ヨリ出狀
本日 新田五月五日 國江同日 五月十七日 本
字品港 上陸坪内 銚三郎ヨリ父高國江同日 五月
七項 邊境 濃列厚見郡上加納村大字 北檜森に着狀

一同年 新田五月五日 愛知縣三河國豐橋衛成坪内 銚三郎
ヨリ實父坪内高國方江出狀 本日前時無事飯豊 申
越 又同 五月二十七日 午前 七項 邊境 濃列厚見郡上加納村大字

北檜森着狀
一銚三郎之ヲ(明々三列豐橋へ着へ處一周間、知
部大ニ村東北ノ新三里新ニ居而謀へ歸ル若シコレヲ病
ハ無之或ノ懸念ノ由也 濃列厚見郡大連河津出帆
一明治廿八乙未年 新田二月二十七日 清國盛京省 地蔵
以テ而及那ノ一統 唐王山後ニ於テ俄 仰彼使奉成無之
銚三郎ヨリ下書 中書 留賢ニ認メ使敬日

陸軍歩兵曹長坪内 銚三郎
給一寺給
明治廿八年二月二十七日

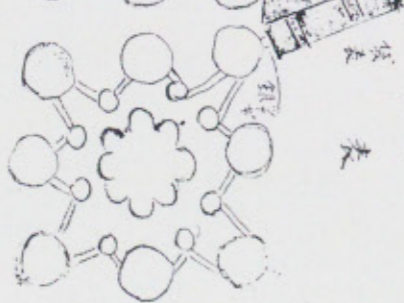
一明治廿八乙未年 新田五月三日 清國盛京省 將家化ニ於
而御書付並ニ御品物本銀ニテ壹箇掛領在之通リ 雖日尾
ニ銚三郎ヨリ下書 中書 留賢ニ認メ候 銚三郎ヨリ 願時 官敬

陸軍歩兵曹長坪内 銚三郎
勳章
明治廿八年五月廿三日

瑞寶章 勳八等
叙

明治廿八年五月廿三日

一カノ物 差渡シ 尺壹寸四方也
一同厚キ 尺壹分五厘也
一シノ巾ノ 花差渡シ 尺四分訂 表
一フナ、ハツ、花小真中、花
トハ 珠キ 其外者ニカ、大 袋表



一袋表 真田織、ヨリニ至テ本
一袋裏 切レ 硝子色 地 淡黄 色 本ト同シ
一カノ物 裏珠カ
一カノ物ノ 裏ニ 篆書ニテ四字在リ 文字
高ク出テ在リ



右坪内 銚三郎 卅八年 新田 成身 下 神ニ下書
認メ 實ニ 候 唯 御書 附ノ 裏面ニ 記シ 止 而 已
一元山 津港ヨリ 德源一 露營 九月十三日 順安 陣三 郎 三人 生
相四人 綾 卅四年 十月十五日 第一軍 志 皆 平 壤 戰 争 所 在
居 銚三 郎 平 壤 露 營 城ニ 居ル 銚三 郎 水 口 鎮ニ 居ル 銚三 郎 所 事 部
ニ 居ル 銚三 郎 十月 廿四日 鴨 綠 江 李 子 園 十八 聯 隊 第一 大 隊 欠
之 第三 大 隊 第九 中 隊 銚三 郎 戰 争 安 東 縣ニ 銚三 郎 本 程 居ル 大 孤
山ニ 居ル 銚三 郎 一月 一日 岫 巖 城 一 泊 銚三 郎 本 城 卅年
居 卅年 十六日 海 城ニ 入ル 銚三 郎 有 卅年 十七日 海 城 江 敵 襲ニ 來ル
是ヲ 獲シ 是ヲ 不 破 止 卅年 同日 同 夕 襲ニ 來ル 是ヲ 破 止 候
兵 同 二月 廿二日 唐王山 後 討 先 登 第六 聯 隊 第七 聯 隊 第十八 聯 隊
銚三 郎 隊ニ 第十九 聯 隊 砲 兵 第三 聯 隊 騎 兵 第三 大 隊 工 兵 第三
銚三 郎 隊ニ 第十八 聯 隊 砲 兵 第九 聯 隊 第十八 聯 隊 工 兵 第三 大 隊



陸軍歩兵曹長坪内 銚三郎
給一寺給
明治廿八年二月二十七日

瑞寶章 勳八等
叙

明治廿八年五月廿三日

中隊 二月廿七日 唐王山 後 戰 争 第十八 聯 隊 砲 兵 第九 聯 隊 第十八 聯 隊 工 兵 第三 大 隊

願書

願書

一明治三十一戊戌年八月五日三列島島町新成ヨリ
 出成其日午後一時過着狀御印三十一日此在端書。故阜
 縣成阜市七軒町古田又次郎方井内高國成置橋町大字北
 畑本方倉戸に在り此置札本五坪内録三部持存不肖哉
 来ハ二十二日頃出發仕候趣キ中上候一其途中準備之為
 ノ二十一日先發仕候間何時頃押地ヲ通過致スヤ難計候
 間御目ニ懸リ難ク卜存候隨分御攝養ヲテ御壯健ニ御
 消遣仕程ヲ祈申儀謹言三十二年九月十九日晴北月廿一
 六日晴天大霧星ノ支那
 友引野里無諸故屋ニ入ル
 一明治卅一戊戌年卯月
 坪内録三部各時朝居
 外出被キ後十二時歸隊毎日入湯朝香口ニ汁録三部ハ香
 同入妻安^ハ録ニ娘銀^ハ女豊薦大字手間所 奉^ヲ
 方^ハ 暫定ス
 一同年卯九月三日台湾ヨリ父國ニ出張キ同廿九日夜
 尋歿十月三日午後二時頃臺灣ニ香度内職久氣被キ月
 際^ハ大風高ニ三層定破損所^ハ相尋當會^ハ三機隊^ハ十一中
 一同年卯十二月文通船星^ハ台湾寄備^ハ赤井^ハ在り此ニ台北
 一駐劄ノ都合ニ有之^ハ今四五匪徒ノ為メ本年二月頃
 転移ノ事ニ相成候又十月廿七日ノ兵ヲ新築相成裏面
 一如何^ハ移寫改正相成候
 一鎮守御方ヨリ登州新録三部方ヨリ父八丁同曜日ニ八真
 中改故々方^ハ齊會由
 一明治卅一乙亥年卯九月一日公北島梁^ハ廿日公北島
 六日午後十時二十九分登橋者ノ列車ヲ着儀致候

日歐戰爭
 鉾三郎出陣
 明治三十七斗甲辰年太陰曆七月十日召佳奈下リ候
 由三月十日午刻鉾三郎^ハ乘車^ハ午^ハ前
 九時三十五分^ハ坂^ハ年^ハ停^ハ事^ハ而^ハ在^ハ之^ハ年^ハ春^ハ
 女^ハ之^ハ出^ハ迎^ハ之^ハ同^ハ里^ハ有^ハ之^ハ花^ハ屋^ハ内^ハ在^ハ之^ハ島^ハ燈^ハ子^ハ
 其^ハ辰^ハ同^ハ月^ハ十六^ハ日^ハ行^ハ八^ハか^ハ半^ハ録^ハ三^ハ行^ハ三^ハ末^ハ福^ハ井^ハ子^ハ
 敷^ハ敷^ハ斗^ハ十九^ハ日^ハ解^ハ隊^ハ申^ハ隊^ハ入^ハ隊^ハ之^ハ中^ハ義

一明治卅一乙亥年卯十月廿七日五列島島町新成兵十八隊
 隊第六中隊坪内録三部ヨリ出陣^ハ定^ハ年^ハ方^ハ一^ハ度^ハ隊^ハ
 致^ハ存^ハ意^ハニ^ハ有^ハ之^ハ候^ハ今^ハ回^ハ下^ハ士^ハ之^ハ制^ハ度^ハ改^ハ正^ハ相^ハ成^ハ候^ハ趣^ハ左
 スレハ本年滿期致ス事ニ於テ候^ハ候^ハ間^ハ會^ハ此^ハ一^ハ系^ハ列^ハ然^ハ致^ハ候
 上^ハナ^ハク^ハ、^ハ候^ハ者^ハモ^ハ難^ハ致^ハ候^ハ改^ハ正^ハ、^ハ多^ハ分^ハ本^ハ年^ハ十二^ハ月^ハ若^ハ入^ハ
 來^ハ年^ハ四^ハ月^ハ之^ハ由^ハ



尾別登知郡名古屋將監屋敷ニテ
如名甚疎 出生及母所ニ而病死
男_孫子_孫

明治五庚午歲六月五日辰、刺誅生玆八延女

同七甲戌年閏六月廿六日赤ノ中刻朝ヨリツ

之警辰三子病死生年五歲法名 顯蓮童子

尾別登知郡名古屋將監屋敷ニテ 妙心寺末寺白林

寺三磐石牌南向 日出管城二牌一 高一

尺五寸程ナリ長度中ヨリ少レ南東ヨリ也

女子 尾別登知郡名古屋將監屋敷ニテ

照呼女 明治八乙亥年閏八月十一日申ノ下刻誅生母

者延安同十二巳卯年卯正月廿一日夜照女九歳

セテ母延女出泰久結葉正立八歳京ニ査報ニ査

并三夫小同月途運之高家工養女二遺久所ハ概

得房十リ同月途運之高家工養女二遺久所ハ概

内也元九歳 時六春地水野及古方工養持桑方工

姊_三先年_井三夫_大深_津公_入于_照母_カト_女拾_ケト

立_方ノ腹_得リ_三兄_也權_井氏_江養_子二_道入_水野_次下_不

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

吉_方ノ寺_寺學_堂知_名井_氏江_養子_二道_入水_野次_下不_レ

右之通御厚儀也

明治三十年四月

右表濃別藍堂十三行景紙宛名無^{山本行朱印}列^{山本行朱印}成^{山本行朱印}申^{山本行朱印}心^{山本行朱印}寫^{山本行朱印}帳^{山本行朱印}目^{山本行朱印}附^{山本行朱印}書^{山本行朱印}ヲ^{山本行朱印}送^{山本行朱印}ル^{山本行朱印}事^{山本行朱印}ニ^{山本行朱印}由^{山本行朱印}テ^{山本行朱印}御^{山本行朱印}書^{山本行朱印}付^{山本行朱印}能^{山本行朱印}ス

一翌日二日岐阜縣へ出頭之處

御渡^{左之通}

一印面朱字簽署

一印面朱印

一印面朱字四分

五匁四方

一美濃列白ノ至

ヲ不^ハ好^ク赤色

十行景紙半ヘラ

ニテ金紙^ク内

立^上尺六寸八分八

匁^上尺四寸九分

一尺立^上尺九寸五分

横^上尺六寸六分也景

一明治三十年五月十八日午後三時少^シ前境祖母手封

女病死ニテ出^テ指^シ新^知少^林寺^送ル^ル步^行夜^後十^時頃^歸宅

翌^日八^時午^後一^時頃^頃頂^出ル^ル金^品十^九日^夕引^キ上^ル少^林寺^ニ

於^テ而^テ施^ス飯^思佛^行齋^酒出^ル夜^半後^十時^頃路^也

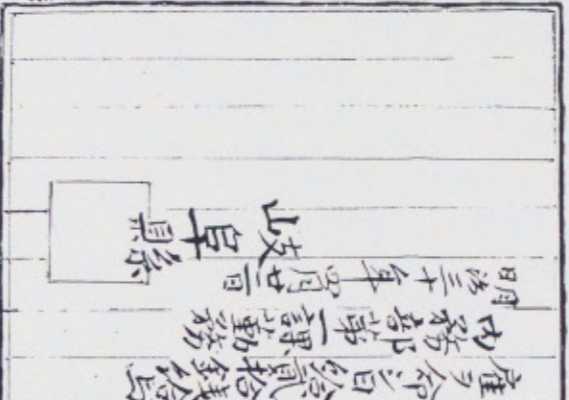
一同年^新七月廿三日以^身而^太田^町御^古道^具高

一^方二^階堂^名實^一十^月五^十日^新月^五拾^五日^江今^日引^越入^之國^也

一同年^新九月廿九日夜二入^是迄^也七^新町^又定^年方^同居

右
坪内定園 ○^國朱^年印

坪内定園
雇ヲ命ジ給貳拾錢給
内務部第^一課勤務
明治三十年四月廿日
岐阜縣



一明治三十年五月十八日午後三時少^シ前境祖母手封

女病死ニテ出^テ指^シ新^知少^林寺^送ル^ル步^行夜^後十^時頃^歸宅

翌^日八^時午^後一^時頃^頃頂^出ル^ル金^品十^九日^夕引^キ上^ル少^林寺^ニ

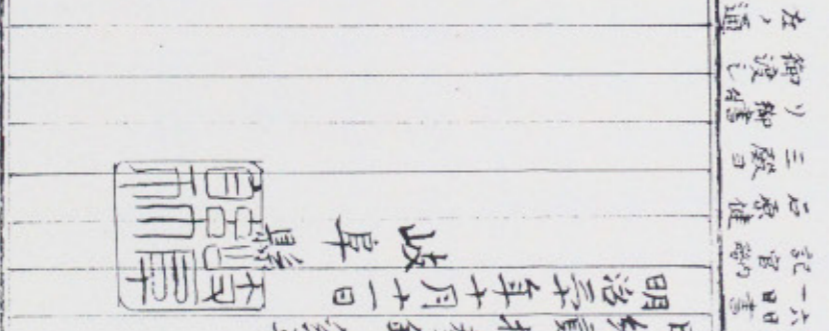
於^テ而^テ施^ス飯^思佛^行齋^酒出^ル夜^半後^十時^頃路^也

一同年^新七月廿三日以^身而^太田^町御^古道^具高

一^方二^階堂^名實^一十^月五^十日^新月^五拾^五日^江今^日引^越入^之國^也

一同年^新九月廿九日夜二入^是迄^也七^新町^又定^年方^同居

一明治三十年四月十日
日給貳拾參錢給與
明治三十年十月十日
岐阜縣 官印
石原健 三殿
御渡^{左之通}



一石本紙美濃別色至^テ白^ク至^極ス^ベク

赤色^十行^景紙^半ヘ^ラニ^テ全^紙也^等内^立尺^六寸^七分^同機^尺四

寸七分也^立尺^九寸^三分^同機^六寸^六分^也

一印面簽署朱朱印一印^印志^寸四^分五^匁四^方印^印真^中

一明治三十年^新十二月十一日^日養^官健^三熊^三出^石保^久保^田

致^周三^リ御^書付^御渡^シ

一明治三十年^新十一月一日

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

一^日給^貳拾^參錢^給與

日給冬拾錢給与

明治三十年二月廿二日

岐阜縣

右八景紙全紙半之十行景紙是下同紙

一明治三十一年戊辰年二月廿八日雇辭表差出在即日御採用

又州四時邊詰頭書記官石川健三殿ヨリ御書付御渡シ

依願解雇

雇坪内定國

明治三十年二月廿八日

岐阜縣

右大坂半紙半之ラ、全紙十行景紙是下同紙

一明治三十一年戊辰年二月廿八日大坂支店九景紙頂上紙

車三而当年不破郡菅井宿郡役所へ出頭令ヨリ近日書キ物終

ルニ依テ也郡長石田兼壽殿ハ之を知己ニテ青木養部世話ニ

テ月ニ給料金七圓銀五圓銀石田兼壽殿ヨリ御書付三返送

書付奉答

雇坪内定國

楚課勤務ヲ命メ

雇ヲ命メ

明治三十年三月日

岐阜縣

明治三十年三月日

右六行全紙半之ラ、全紙十行景紙是下同紙

一明治二十九九年十月廿五日ヨリ滋等縣札岐阜市役所ニテ申受

候儀、明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

但欠坪内高國持奉紙御役所へ奉島打性認察情由ニ關印差出ス

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

一明治三十年三月十日書付ヲ以御返納仕候

雇坪内定國

依願雇ヲ解ク

明治三十年四月十日

岐阜縣不破郡役所

一六行八分紙行色之、別半分ニ于全紙白色學キ景紙

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

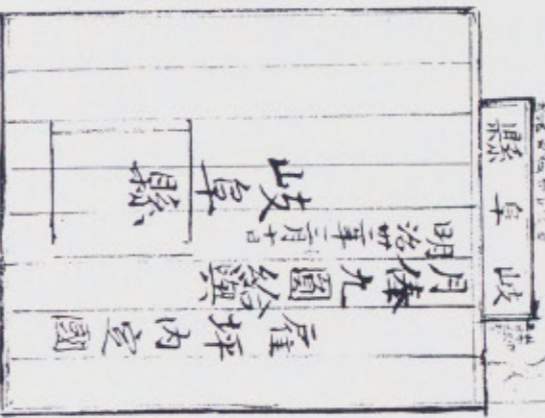
一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一五景外法六寸七分五厘一機景外法四寸九分五厘

一 一號年號三十三年四月廿三日
 一 明治廿一號年號三十三年四月廿三日
 一 明治廿一號年號三十三年四月廿三日
 一 明治廿一號年號三十三年四月廿三日
 一 明治廿一號年號三十三年四月廿三日
 一 明治廿一號年號三十三年四月廿三日

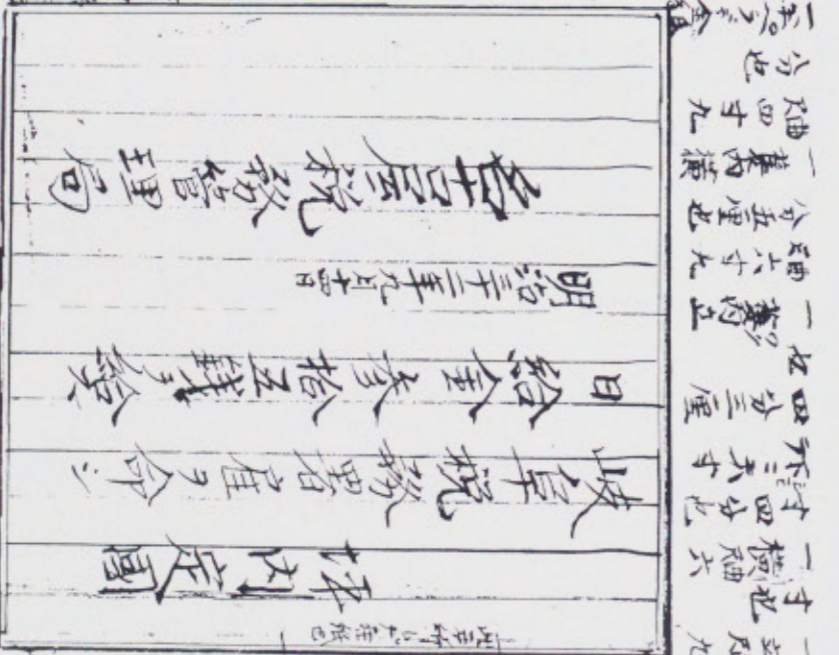
一 フノハ上、野岐車縣
 一 文字卷是八行景紙
 一本紙五冊九寸世同横
 四六寸五分也
 一 フノ外卷六寸九分
 五重也同外法横冊五寸
 五重也



一 本紙色白洋紙漉厚紙半ヘラニテ全紙
 一 明治三十二己亥年朔三日十日課長泰幸三部殿ヨリ御渡
 一 明治卅二己亥年朔七日十四日ヨリ別家二階任脚氣病、ノ
 岐阜市ノ外法計所管御
 一 明治卅二己亥年朔八日十五
 一 御渡被差候間
 一 御渡被差候間

一 明治三十二己亥年朔十日
 一 本堂
 一 岐阜縣
 一 岐阜縣
 一 岐阜縣

一 立脚九寸也
 一 横脚六寸也
 一 寸也
 一 寸四分也
 一 二寸三分也
 一 四分三厘也
 一 一籌立
 一 寸四分也
 一 一籌立
 一 四分三厘也
 一 一籌立
 一 寸四分也
 一 二寸三分也
 一 四分三厘也
 一 一籌立
 一 寸四分也
 一 二寸三分也
 一 四分三厘也
 一 一籌立
 一 寸四分也
 一 二寸三分也
 一 四分三厘也
 一 一籌立



一 本紙色白洋紙漉厚紙半ヘラニテ全紙
 一 明治三十二己亥年朔三日十日課長泰幸三部殿ヨリ御渡
 一 明治卅二己亥年朔七日十四日ヨリ別家二階任脚氣病、ノ
 岐阜市ノ外法計所管御
 一 明治卅二己亥年朔八日十五
 一 御渡被差候間
 一 御渡被差候間

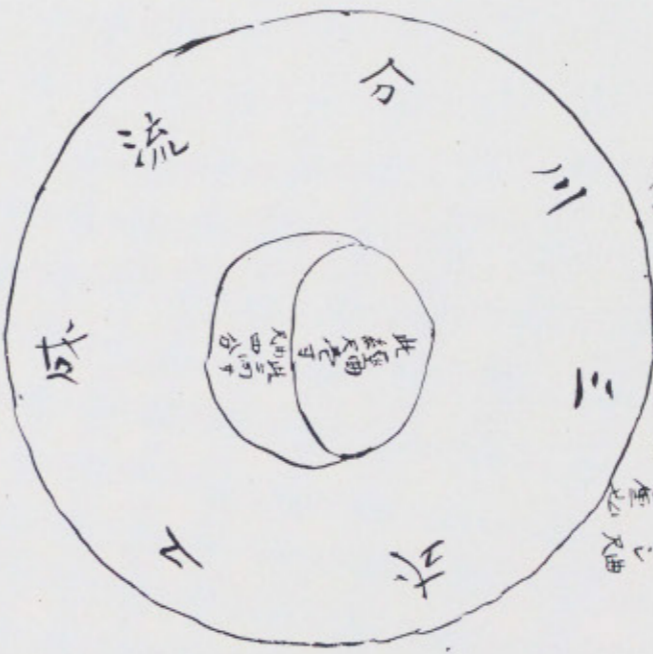
内定國

右前題之同景録ナリ略ス
 一明治卅二己未年十一月十八日坪内之園坂皇縣御役所
 六條へ今日ヨリ出頭助儀ニテ諄令無之由存ナレバ御書件下
 上日

御用箱ニ付在之解
 明治三十二年九月三日
 皇縣御役所
 知縣

一本紙白洋紙 水曾川改修三川分岐工事誌
 一周年月朔 五月廿二日午前十時頃、副縣廳ヨリ御召使
 來ル定國他行ニ付テ歸宅後岐皇縣へ出頭金器目以下賜テ夜
 遊^レニ夜即日坂草布忠節茶屋ニ於テ酒肴饗應燒煮有^レ
 心吸物等ニテ大造御料理下賜夜ニ入午後 厚飯迄
 一同年同月望日 五月廿三日岐皇縣ヨリ午前御小使入米相
 箱入銀盃壹箇入絹扇壹台莫田組也 下賜外ニ御儀請御書ニ
 通添左之通、

一明治三十二年五月廿五日 坂草縣御役所ニテ坪内之
 園江箱入坂大落雁三品白^ハ本黃御菓子下賜近在本曾川筋熱列
 茶名込皇流ノ御普請出來ニ付御祝立國基掛リ、夜^レニ夜^レ
 一同年同月 五月廿三日頃迄ニテ定國御雇濟助儀ニ依而諄令無
 之由御書件



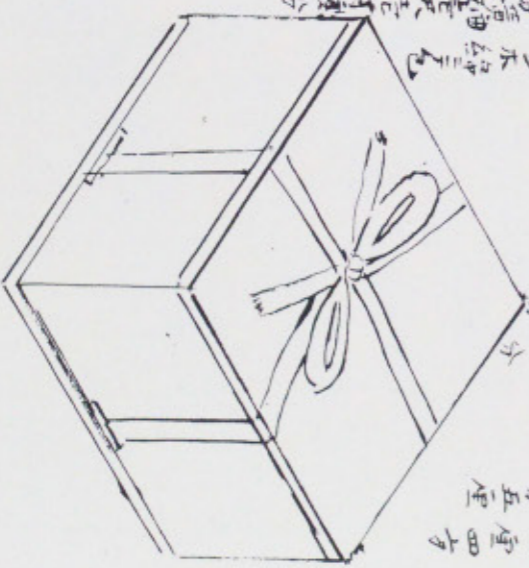
一 銀念慶流ノ尺曲
一 戴守庫庫五厘也
一同深ノ曲
五分五厘也
一同目方給
一 同五分五厘
一 一五五厘地
一 外ニ文字
七字彫付ク

厚ク深ク平
心ヲ
一 立尺九寸也
一 横尺六寸五
分ナリ
一文去淺紫色
ニニヤク板
一 坪内定國殿
一 五文字裏ニ
一 書キ入
一文等所立尺寸貳分也 一本紙四ツ折又ニツ折
致リ成玉式ニ無事終リ是等
責下等幹旋書力ニ感スル所
感謝 不堪候 尔聊微意ヲ表
セシ方 流ノ純念 盆個ノ贈進
山阜縣懸
明治三年五月 三川合流城式事務新

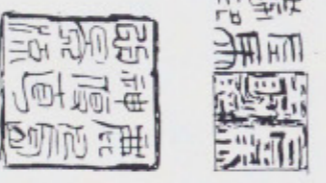
坪内定國殿

御盆蓋箱ノ圖

一 箱桐外法 尺三寸〇七厘四寸
一 外法深ノ尺壹寸三分五厘
一 夕底共長寸五分也
一 板厚ノ尺壹分九厘
一 宮内法 尺深リ寸三分
一同由法 尺貳寸七分四厘
一 絹裏同粉買程長曲
壹尺六寸四分也
一同紐巾 尺二分也
一 板厚ノ尺七厘也
一 モノシシ 數外ノ木紐三色
一 寸シモノシシ 八寸六分 箱蓋尺長寸四分

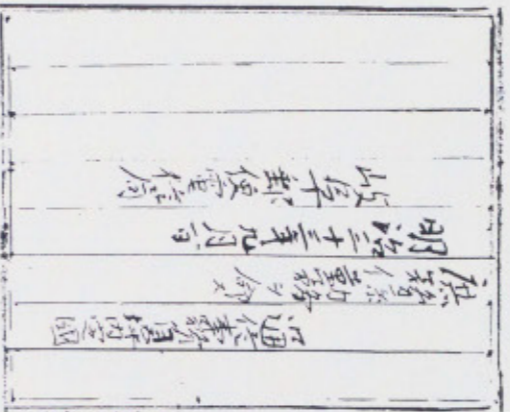


一 明治三十二年五月廿八日 岐阜縣岐阜市警察部生知
術持南柳谷ハ地ヲ 町權明ノ西ノ尾隈名士屋同藩士中
川在馬之助 先生ヨリ目錄假定狀御渡シ
一本紙白ノ厚ノ洋紙
一 立尺六寸六分五厘
一 横尺九寸也
一 朱印朱字ノ太ク五厘書キ
一 鹿島神傳自念影流
一 右氣流ノ劍術此精ニ月目錄
一 傳人ノ相傳候此研究
一無忌情專修可被成候
仍傳達如件
明治三十三年十二月六日
大印
山島千影孫士族
朱字



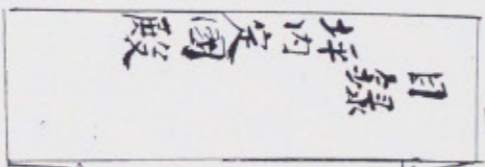
鹿島神傳
無忌情專修

- 一 薄紙一枚
- 一 立軸九寸五分
- 一 横軸六寸六分也
- 一 八行黄紙金紙
- 一 無印



一 志園少初、先生岐阜吉矢島町住人 孝作著其故描先
生云云。明治 年西京、出生若年時、後行岐阜市 立
江養子、成若年、崎、銀術邊者、由
一 志園性筆道、恨心岐阜市竹屋邊唐橋樓書、先生山平卯兵
衛号名寄、云一、号長耳、通、
一 明治卅三年、九月、八日、郵便電信局、出、頭、呼、八、今、小
町西、横、下、八、六、江、平、觀、高、前、東、御、邊、
殿、御、渡、

- 一 小方券即白子篆書
- 一 印立軸九分也
- 一 印横同計
- 一 包紙、紙立軸八寸也
- 一 同横軸、貳寸六分也



市川左馬之助

一 立軸、文可居、分、
一 横軸、六寸九分

自今日始、金貳拾五錢、給與、
明治三十四年二月廿日、
通信事務員内閣

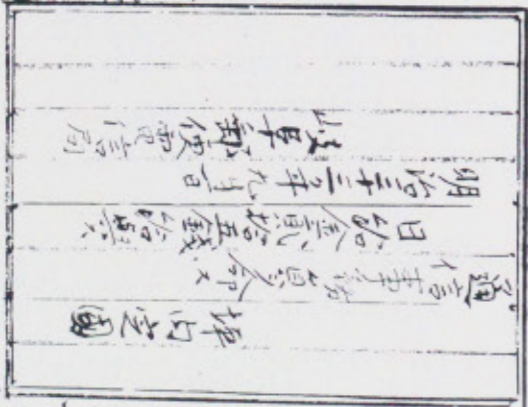
- 一 御無印
- 一 十行黄紙赤き色
- 一金、
一 糸、二、三、
一 白厚洋紙
- 一 横軸六寸九分五厘
- 一 立軸九寸五分

岐阜郵便電信局

右等、
一 金、四圓、
給與、
明治三十三年二月十日、
通信事務員内閣

一 明治三十三年、二月、十日、
御流

此、全、景、包、封、作、
此、景、包、封、作、



- 一 厚洋紙、九寸、五分、
- 一 立軸、九寸、五分、
- 一 横軸、六寸、五分、五厘、
- 一 八行黄紙金紙
- 一 無印
- 一 紙厚洋紙
- 右、通、共、同、時、二、賜、

明治三十三年九月十日
岐阜郵便電信局

岐阜郵便電信局

一十行赤紙量紙
一五〇之三金紙

一明治卅三庚子年十一月下旬頃、浪刺要郡平嶋村紙合々長尺五部ヨリ群嶋村從人、出頭坪四空圖徽兵年餘ニ付、当年中ニ書キ上ニ様申成石無キ時者八十錢ノ罰金、越申致テ二月廿四日書寫差出テ示、經度書差出テ様申越テ又同月廿三日ニ差出テ郵便ニテ解留

一明治三十甲子五月五日吉書付馬後左

一用紙洋書紙半片掛

一用紙赤紙半片掛

二套八四

(前) 右中事知刺知加付紙等ニテ

一用紙重子字新造電紙等

一〇年九月〇日上

(前) 國紙多量取立ニテ

一用紙自今ヨリ紙等取立

一用紙重子字新造電紙等

一〇年五月二十九日上

一用紙重子字新造電紙等

一用紙自今ヨリ紙等取立

一用紙重子字新造電紙等

一〇年三月二十日上

一用紙重子字新造電紙等

一用紙自今ヨリ紙等取立

一用紙重子字新造電紙等

一〇年十月二十日上

一用紙洋書紙半片掛

一用紙重子字新造電紙等

(後) 庶務係紙等取立

一用紙重子字新造電紙等

一〇年九月〇日上

(前) 國紙多量取立ニテ

一用紙自今ヨリ紙等取立

一用紙重子字新造電紙等

八ヨリ申表ル由又云東京白米志同ニ三升五合故阜ニテ
高直ハ戰爭、御用意ニ成ル云此項新聞ニモ魯因ハ
入組ノ様子ナリ

一明治一戊午新五月十三日台湾國父知女ヨリ父定
年々出狀同月新五月十三日朝各時辰上刻頃着狀正

金五圓札壹枚封入又近日金五圓差越趣也

一明治一戊戌年新八月廿三日台湾國父知女ヨリ父定
年々出狀同月廿八日朝頃着狀二高申群々八月廿日午前五

時廿九日朝ヨリ大風翌七日朝迄此無難ニテ候堤切レ
入リ立退キ候百〇三人死在之空敷ノ出ニ着物持出シ

條山

一明治一戊戌年新八月十五日

大風

本國毛列學見郡上如加村字下金津町
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一明治二十二年癸丑年新六月十六日辰ノ下刻頃
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

釋道圓山上如加村字下金津町

字午手堂一向泉澤土西平領寺深喜橋寺也
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町

一同年新八月二日卯ノ下刻頃病歿一周年
生國毛列學見郡上如加村字下金津町



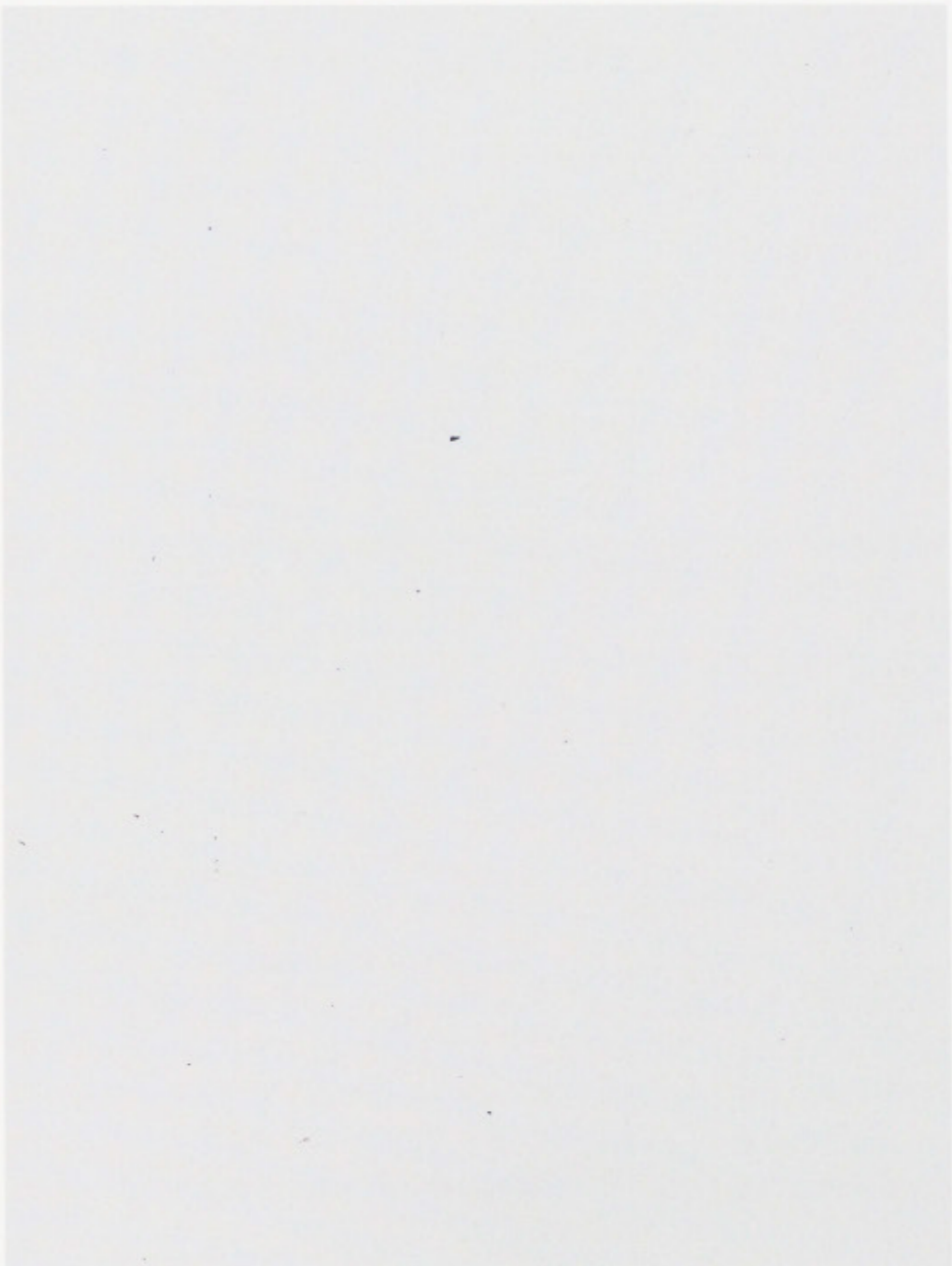
男子如定規、羽粟郡外野村 皇孫羽粟郡平島村香外
 一 明治廿八乙未年癸丑二月廿三日午後十一時生、日
 曜星 正月朔至春端十日ヨリ十四日自晴天母八本
 室如藤得外女同正月廿八日六日、七夜定規、羽粟郡外野村 下名付、
 波列成陣、子見 男子者六日、女子者七日也、同二月端
 五日出生届、羽粟郡外野村 坪内高國出頭

出生届
 岐阜縣羽粟郡平島村香外
 袁 坪内定年家
 父 坪内鑲次郎
 妻 持
 長男 定規

右者本月十七日併生後間加籍相成度
 此段及御届候也
 明治廿八年正月廿五日
 羽粟郡外野村組 合長岩田初藏殿
 坪内定年 叩

御届
 岐阜縣羽粟郡平島村士族
 坪内定年 弟
 坪内鑲次郎
 長男 定規
 右者二月十七日滋賀縣水上郡久徳村
 大字久徳年六十六生屋敷有根繁察奉
 高官分署巡查駐在所江寄留仕候此段
 及御届候也
 明治廿八年三月六日
 坪内鑲次郎 叩

羽粟郡外野村組 合長岩田初藏殿



男
子
曾

本國尾 生同尾 江別 大上 都久 徳村 大子 太曾
一 明治三十一年 戊辰年 二月廿二日 巳午 列 死 在 曾 前 庭
母 八 本 室 如 藤 得 女 出 生 前 庭 物 出 生 物 大 子 湯 名 一 露 外 子
右 同 村 同 子 種 宗 臨 濟 派 末 昌 春 菰 分 別 院 寺 世 和
高 市 同 村 大 子 墓 地 二 於 于 埋 葬 宗 曾 父 弟 宗 和



<p>男 子 野島崎男</p>	<p>本國尾洲 生國尾洲 一 明治十七甲申年濃列羽泉郡下卯食村字東屋敷無故郷於分系門 故郷祖父守桐藤庄二門分家、門借宅三於而新自二月九日 夜明ヶ前嗽六ヶ下刺誕生母者妻辰椿力於 三城澤列羽泉郡下卯食村字東屋敷無故郷於分系門 見入身八方二之時三城澤列羽泉郡下卯食村字東屋敷無故郷於分系門 及村字東屋敷無故郷於分系門 一 同 年 同 月 朔 十 日 虫 氣 二 而 年 ノ 上 刺 置 九 病 死 法 名 釋 轉 道 卜 云 祖 母 子 一 女 藤 左 五 門 妻 今 年 四 十 一 出 生 紹 里 之 且 那 寺 上 卯 食 村 一 向 宗 廟 派 法 善 寺 吊 三 而 下 卯 食 村 字 東 屋 敷 組 字 山 ノ サ 二 へ 墓 葬 二 埋 葬 向 也 新 七 十 一 日 湯 初 之 日 ヲ リ 病 氣 九 病 死 法 名 二 虫 氣 二 ヲ 破 壁 之 成 リ 候 由 祖 父 藤 左 門 今 年 五 十 五 歳 司 七 年 高 五 十 見 群 岐 身 小 熊 村 字 小 熊 町 二 東 屋 敷 無 故 郷 於 分 系 門 一 同 年 同 月 朔 十 日 虫 氣 二 而 年 ノ 上 刺 置 九 病 死 法 名</p>
<p>男 子 銀 心 男</p>	<p>本國尾洲 生國尾洲 一 明治廿二己丑年約六月廿四日三河國渥美郡豐橋字東 町住銀心銀藏定於前誕生母者妻辰安女也 概細里 一 同 年 約 六 月 廿 四 日 向 三 河 國 渥 美 郡 豐 橋 字 東 町 住 銀 心 銀 藏 定 於 前 誕 生 母 者 妻 辰 安 女 也 概 細 里 一 同 年 約 七 月 不 足 九 月 也 一 程 在 命 刻 西 洋 午 病 死</p>
<p>女 子 銀 心 女</p>	<p>本國尾洲 生國尾洲 一 明治廿二庚寅年約三月十二日卯辰八ヶ浦字東屋敷無故郷於分系門 一 同 年 約 三 月 不 足 九 月 也 一 程 在 命 刻</p>

誕生七年 幸壽 暗子 爲 本 母 者 泉 服 愛 知 縣 三 河 國 津 島 郡 豐 橋 町 字 銀 藏 三 浦 安 女 同 廿 八 日 七 夜 子 卜 名 付 〃 綱 五 月 十 九 日

百十日二高宮村

別紙領丈趣公認

素知具屋

和

明治廿三年三月八日 豐橋町長三浦昭水

右大坂半紙藍色十二行景紙半分

燧子頰

岐阜縣美濃國羽島郡車掛町

坪内定年弟

吉原十段隊第八中隊

坪内群三郎

燧子長女 ぎん

右名証載之者秘儀穩軍奉職中明治二十三年三月二

日愛知縣三河國津島郡豐橋町字魚川三番戸

鑿本銀藏妹也寸八之腹之出生係出自分室子

之相違莫之訖之私庶子打妾申度依向允銀

藏連署之子届出便向御認可被下彦者也

明治二十三年三月八日

坪内群三郎

鑿本銀藏

愛知縣津島郡豐橋町
町長三浦昭水殿

右紙二月十八日。出狀三列ヨリ申越之近日濃河川東岸島村江入

鑿町三番戸鑿本銀藏方へ寄致申由申未ノ候豐橋町字

朱印

朱印

一 明治廿四年卯年六月 日 初度種痘

前二日 在り

一同廿八乙未年雜六月十八日午後九時平前群三列濃美

項豐橋町字手間町ヨリ父翁三部母安女共種痘申上到

始而濃列厚員節上加納付岐阜市字下神田町味噌

溜り塩酒當金料屋榮志工門方へ格致申上申着末二泊又

二日豐橋町此知二子祖父祖母伯父殿ニ對面又雜八月


止四日夕申ノ申申時頃 蒸氣車ニ而尾列名古屋迄出立

七日晚八時申上時頃三列豐橋へ歸着



(系圖)

丹内斜三郎藤原定政從朝鮮國清國江渡海交通並開書語記
十二代自隱士七十二首并内藤原高國繪造




岐阜縣美濃國
皇具郡上加納村字北榎桑

坪内高國殿
類臣

曲豆橋町大字寺間寺

宝永太助方
六月二十六日 坪内斜三郎



一書拝呈仕候炎暑、候、御坐候
一燈御探御仕候御暮、段奉賀

候降テ小生方皆無事ニ眾在候間
 尔俾御依神可被下候陣者取
 早御御及ニ候得共先月上御
 與朝舞国ニテ東学黨ト申候
 内申不申由黨(国政ヲ改革ナラ
 欲走)候ニ何公政府ニ鎮定
 欲官兵七八百人ヲ派遣セシ
 内閣ノ大敗ヲ取リテ東学黨
 力破竹ノ如ク益々盛ニシヨ
 人トテ依テ援ヲ支那ノ國ニ
 日本國太陽國ナルヲ志援且日本
 人民保護為シ藝洲廣島ヨリ
 浪城ニ族連出張シ釜山仁川
 京城ニ至)候如東学黨ニ鎮
 定セリ然レ何カ支那國ト日本
 間ニテノ事件起リト見(西國
 間歌ノ準備ヲテ至リ)人語ニ依
 名古屋ヨリ一テ腰隊馬驅出テ
 仕候由款(之)當腰隊(何咄出
 致スマテ手ノ(不)候間一寸申
 決シテ御心(吹)候度候御方
 報 甲上候先(不)取敢御報
 謹白

二 伸右件ニホリ判然シタ事ニ無之只々

立評ヲ記セシモノトシテ他言一切御無用
 顯度候陸軍ニ在テ軍隊ノ事實使
 ニ不分候又(凡)評ヲ承リ候得バ
 申上ル候ト返事被下候ト(下
 痛則テ豊楢(町)大守年間宮本太郎
 へ(送)被下度候先(封)蓋シテ
 宛テ(置)送ル日ノ公務身忙(恐)
 得共兄定年極(小)何
 申上ル候(中)皆極(宮)家(傳)言
 右當時(上)軍如色(立)曲(五)寸四分横(尺)壹寸七分
 左(小)五寸(四分)計(明)白(紙)ナリ
 本(文)十(六)日(五)月(三)日
 富樫直流 内家一統系 図並由緒

立身物 盛年市上 市
 町 楢町 豊楢市 上 市
 御 豊 楢 市 上 市
 御 豊 楢 市 上 市

一 御 豊 楢 市 上 市
 二 御 豊 楢 市 上 市
 三 御 豊 楢 市 上 市
 四 御 豊 楢 市 上 市
 五 御 豊 楢 市 上 市
 六 御 豊 楢 市 上 市
 七 御 豊 楢 市 上 市
 八 御 豊 楢 市 上 市
 九 御 豊 楢 市 上 市
 十 御 豊 楢 市 上 市

一 御 豊 楢 市 上 市
 二 御 豊 楢 市 上 市
 三 御 豊 楢 市 上 市
 四 御 豊 楢 市 上 市
 五 御 豊 楢 市 上 市
 六 御 豊 楢 市 上 市
 七 御 豊 楢 市 上 市
 八 御 豊 楢 市 上 市
 九 御 豊 楢 市 上 市
 十 御 豊 楢 市 上 市

